

関係各位

2016年10月19日

ロッテの経営正常化を求める会
株式会社光潤社
代表取締役社長 重光宏之

ロッテグループ代表者の起訴について

本日、韓国において、日韓ロッテグループの現在の代表である重光昭夫氏が、横領・背任など複数の容疑で韓国検察より起訴されたとの発表がなされたとの報道に接しました。株式会社ロッテホールディングス（以下、「ロッテホールディングス」という）の最大株主である株式会社光潤社（以下、「光潤社」という）といたしましては、日韓ロッテグループの現職の代表者の立場にある者が起訴されるという、決してあってはならない事態が起きたものと認識しております。また、創業家の一員として重光宏之は、この事実を非常に重く受け止めており、ご迷惑・ご心配をおかけしている関係者の皆様に心よりお詫び申し上げます。

光潤社といたしましては、重光昭夫氏に対しては、日韓ロッテグループの現職の代表者として事実を明らかにすることで自身にかけている横領・背任等の嫌疑について説明責任を果たすべきであると考えています。

そして「ワンロッテ・ワンリーダー」を標榜して重光昭夫氏が創業者を排して日韓ロッテグループの代表に就くことに加担した佃孝之氏らを中心とする現在のロッテホールディングスの経営陣は、韓国ロッテやその取締役らにかけられた嫌疑について、積極的に捜査や裁判に協力すると共に、現在の混乱を根底から払拭するよう積極的かつ適切な行動をとるべきです。それにもかかわらず、徒に韓国ロッテとの接触を避け、親会社としてのガバナンス機能を発揮せず、混乱を長引かせるだけの現体制のままでは、創業以来最大の危機を乗り越えることができないのは明らかであり、ロッテホールディングスの経営刷新を通じた経営正常化の必要性を改めて強く認識しております。

光潤社は、今後も引き続き、ロッテグループがお客様、お取引先、社員とそこご家族を始めとする関係者の皆様からの信頼を回復し、経営を正常化させるために必要な対応を行う所存であります。

以上